

第3回福岡市子ども読書活動推進計画策定検討委員会 議事録

日時	平成29年2月17日(金) 15:30~17:00
場所	福岡市役所 503会議室
出席者	別紙のとおり
議題	福岡市子ども読書活動推進計画(第3次)素案に対する意見及び意見に対する福岡市の考え方(案)について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし

1 開会

- (1) 事務局挨拶
教育支援部長挨拶

- (2) 出席者の確認

事務局 | ※出席者名簿, 座席表の説明をもって各委員の紹介とする。

- (3) 会議の公開について

事務局 | ※傍聴要領について説明(内容は省略)
(傍聴人なし)

2 協議

- (1) 福岡市子ども読書活動推進計画(第3次)素案に対する意見及び意見に対する福岡市の考え方(案)について

委員長 | 事務局より説明を

事務局 | ※配布資料, パブリックコメントの結果について説明(省略)
福岡市の考え方, 素案の修正箇所について説明(省略)

委員長 | 説明のあった件について意見や質問はないか。

委員 | 今後6年間の学校司書の配置については現行のままか。

事務局	学校司書の配置については検証を行い、次の体制を検討していく。
委員	学校司書の配置について国の方針として努力義務が謳われているにも関わらず、福岡市の方針に変更がないのはいかがなものか。教育委員会として学校司書の増員についての意向を尋ねたい。
事務局	第2次計画に基づき学校司書の配置を行った結果として成果が上がっていると判断している。第3次計画では現在の配置の効果について検証するとともに、子どもの読書の実態把握を行い、その結果を踏まえて進めていく予定。
委員	予算面で厳しいのは理解できるが、学校司書の増員について現行継続では進まないと考える。学校司書の必要性は高いと思われるので、計画の要所に「学校司書」の文言や「図書館ボランティア」の文言を挙げ、必要性を強調する必要があると思われる。
事務局	学校司書の必要性や読書ボランティアの活用といった人材の活用方法も含めて今後検証していく予定。
委員	例えば、学校図書館活用推進校等、モデル校を設置するのはいかがでしょうか。学校長を中心として学校図書館の活用を検討する機会になるのでは。学校図書館の取組みについて学校間の温度差があるのは事実。研修の場や情報発信の場を設置することについて、教育委員会の協力体制も必要。
事務局	各学校で「学校図書館全体計画」を作成してもらうように教育委員会から働きかけ、学校間の温度差を埋めていきたい。
委員長	モデル校設置は大変効果的と思われる。学校長を始め司書教諭、学校司書などすべての先生が協力して、取り組んでもらうとよいと思われる。
委員	学校司書の効果検証という文言だけでは、学校司書の配置に効

果があるのかないのか、という風にとられかねない。そのため、体系図の「学校司書の効果検証」のいう表記の下に「学校司書と学校図書館ボランティアの効果的な活用と連携」という言葉をいれて、具体的な内容を表記してほしい。

事務局

計画各論の「学校司書の効果検証」に「現在の配置体制における活用方法と連携の在り方についての成果と課題を検証し」と示しており、この部分に「学校司書と学校図書館ボランティアの効果的な活用と連携」が含まれている。体系図は計画の体系を示すものであり、具体的な取組内容を入れてはいない。

委員長

具体的内容については計画各論に記載しているということか。学校司書としての意見はどうか。

委員

数値目標を出すことはわかるが、数値に縛られてしまうと本来の目的を見失うこともある。本来の学校司書の仕事について考えさせられる。

事務局

中高生の読書活動の現状には学校以外にも色々な要因があると思われる。それらの要因を探る実態調査を計画している。

事務局

平成26年より学校司書を6名増員しており、効果が上がっていると感じている。学校司書がすべての学校に関わるようになっており、学校間の差が少なくなり、学校長のもと、組織的に学校図書館に関わる体制づくりが進んだと感じている。今後も学校図書館の活性化を重点的に取り組んでいく予定であることから、学校司書と読書ボランティアの連携についても把握していく。今後、学校図書館活用の方針と全体計画をすべての学校に提示し、学校長のもと学校司書や司書教諭、読書ボランティアと連携していくことを第3次計画に盛り込んだ。

委員長

体系図だけを見る人もいるかと思われるため、体系図に計画各論のページを記載してはどうか。

事務局

ご意見のとおり、ページを追加記載する。

委員	計画各論に「司書教諭の資格取得の促進」との記載があるが、どのように促進していくのか。養成講習の実施についてはどうなのか。
事務局	第2次計画で司書教諭の資格取得促進に取り組んでおり、既に効果がでている。今後第3次計画でも継続して取り組んでいく。
委員	資格取得者に対する研修などはどのように考えているか。
事務局	司書教諭の研修については「読書活動推進を図る研修の充実」という項目の中で研修の充実に取り組んでいく。
委員	学校司書と司書教諭を集めた連絡会の中で研修が行われている。実践報告や活動についての助言を受けるといった経験をすることで司書教諭が活動のプランを持つことができ、結果学校図書館の活性化につながると思われる。
事務局	担当課でしっかりと取り組んでいく。
事務局	読書活動の促進については学校図書館担当者連絡会の中でも取り組んでいる。今後、授業の中での図書館活用について研修の中で取り組んでいく必要があると思っている。
委員長	他になにか意見はないか。
委員	市町村が計画を立て、文部科学省に申請すると予算がつくという話を聞いた。福岡市では申請していないのか。
事務局	要求できる予算については既に要求していると思われる。
委員長	活用できるものは積極的に活用してほしい。
委員	計画の進捗状況を公表するとのことであるが、それは毎年推進会議の中で公表するということか。
事務局	推進会議とホームページで公表していく。

委員	団体貸出については蔵書不足で十分に貸し出しができていない状況である。また、移動図書館車についても非常に好評であるが、予算の問題から例年削減を検討されている。また、学校司書が学校図書館支援センターの活用をしやすいようにインターネットの整備もお願いしたい。次回計画の際にはパブリックコメントの配布場所に図書館を加えて欲しい。
事務局	次回パブリックコメントの際には対応する。
委員長	地域の読書活動について意見はないか。
委員	地域文庫の活動についてはより多くの子どもが参加できるように日時の工夫をしている。学校のある日に文庫活動を行うと、学校と公民館が離れていることや、下校途中に寄り道ができないという理由で子どもが文庫活動に参加できないことがある。今後、学校と積極的に連携し、協力体制ができればよいと思う。また、学校図書館のボランティアとも連携体制を作るよう努力している。
委員長	学校図書館と関係の深いPTAからは意見はないか。
委員	部活動のある子どもは時間的に学校図書館に行くことができない。しかし、部活動のない子や今の時期、進学先が決まった子など時間のある子は学校図書館から本を借りている様子。
委員長	時間があれば中学生も本を読んでいると聞き、安心した。朝読書の取組みは効果的だと思うが現状はどうなのか。
委員	学校によって取組みの状況は異なる。朝読書の時間があると自分で本を持って来たり、学校図書館で本を借りたりしている。
委員長	朝読書の取組みは効果的と思われるため、今後も継続してほしい。
委員	目的が読み上げ冊数が上がることだけにならないように、読書

の本当の目的を忘れないようにしないといけない。本を読むことは情報の中から大意をつかむことになると思う。読書教育と授業活用の両方あつての学校図書館である。学校図書館についての管理職を交えてビジョンを持ち、学校司書をどう活用していくか、それを考えていく必要があると思われる。

委員長

1 学校に1人学校司書がいると素晴らしいと思うが、今後目指していただきたい。

副委員長

これからが、計画本番である。皆にはそれぞれの立場から頑張ってもらいたい。

委員長

他になければこれで議題を終了する。

終了